



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4611 URL <http://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岩浅 壽二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 瀬古 宜範

TEL 06-6466-6661

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	37,819	7.7	2,703	53.9	2,639	54.7	1,494	28.3
27年3月期第2四半期	35,112	△0.7	1,757	5.2	1,705	3.9	1,165	40.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,161百万円 (△28.1%) 27年3月期第2四半期 1,614百万円 (2.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	10.08	10.07
27年3月期第2四半期	7.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	69,185	28,835	38.8	182.63
27年3月期	69,252	28,441	38.2	178.29

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 26,847百万円 27年3月期 26,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	6.8	5,450	23.1	5,500	22.3	3,300	19.7	22.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	148,553,393 株	27年3月期	148,553,393 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	1,551,284 株	27年3月期	65,876 株
----------	-------------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	148,297,757 株	27年3月期2Q	148,489,477 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業利益の改善や設備投資の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調をたどりました。一方で消費マインドには停滞感が残り、新興国にも景気減速が見られるなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの連結業績につきましては、国内塗料事業は、主力の構造物分野における出荷が順調に推移したほか、前年度に設立した粉体塗料製造会社が連結業績に寄与し、売上は強含みに推移いたしました。また、引き続き高付加価値品の拡販や経費削減に努めた結果、利益は増加いたしました。海外塗料事業は、中国、メキシコを中心に堅調な需要に支えられ、増収、増益となりました。照明機器事業は、小売業界の設備投資回復を受け売上は伸張いたしました。経費の上昇により利益は減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は378億1千9百万円（前年同四半期比 7.7%増）、営業利益は27億3百万円（同 9億4千6百万円増）、経常利益は26億3千9百万円（同 9億3千3百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億9千4百万円（同 3億2千9百万円増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内塗料事業〕

一般塗料分野では、市況が低迷する中、主力の構造物分野における出荷が順調に推移し、売上は前年並みの水準となりました。工業塗料分野では、主要取引先の生産調整の影響を受け、売上は前年を下回りましたが、期中より回復傾向にあります。また、建築分野における塗替需要等が好調であるほか、粉体塗料製造会社の寄与もあり、当セグメント全体での売上は強含みに推移いたしました。引き続き高付加価値品の拡販や経費削減に努めた結果、利益は増加いたしました。

この結果、売上高は277億4千1百万円（前年同四半期比 7.9%増）、セグメント利益は16億4千4百万円（同 7億1千5百万円増）となりました。

〔海外塗料事業〕

東南アジア地域においては、タイの自動車生産量の減少や、インドネシアの経済成長鈍化等により販売量は減少したものの、円安の影響もあり売上は前年を上回りました。中国では構造物分野の販売が伸張し、売上は増加いたしました。メキシコでは自動車部品分野での安定した需要に支えられ、売上は増加いたしました。また、原材料費低減効果により当セグメント全体での利益も増加いたしました。

この結果、売上高は38億1千6百万円（前年同四半期比 7.3%増）、セグメント利益は4億8千8百万円（同 1億7千3百万円増）となりました。

〔照明機器事業〕

照明機器事業は、小売業界の設備投資が回復したことで売上は伸張いたしました。新基幹システムの導入負担等により、利益は減少いたしました。

この結果、売上高は45億4百万円（前年同四半期比 5.2%増）、セグメント利益は2億7千7百万円（同 3千4百万円減）となりました。

〔蛍光色材事業〕

蛍光色材事業は、国内の塗料・加工品需要が底堅く推移したものの、海外の顔料需要の低迷が続く減収となりました。しかしながら経費削減に努めた結果、利益は前年並みの水準となりました。

この結果、売上高は6億7千2百万円（前年同四半期比 3.9%減）、セグメント利益は7千6百万円（同 0百万円増）となりました。

〔その他事業〕

売上高は10億8千5百万円（前年同四半期比 27.2%増）、セグメント利益は1億8百万円（同 4千4百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は691億8千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して6千7百万円の減少となりました。流動資産は329億9千7百万円で前連結会計年度末と比較して5億3千9百万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の増加2億1千5百万円、受取手形及び売掛金の増加3億7千1百万円、たな卸資産の増加3億8千万円、繰延税金資産の減少1億5千万円、その他流動資産の減少2億7千4百万円等が主因であります。固定資産は361億8千8百万円で前連結会計年度末と比較して6億6百万円の減少となりましたが、これは有形固定資産の減少3億6千7百万円、投資その他の資産の減少2億8千4百万円等が主因であります。

負債は403億5千万円となり、前連結会計年度末と比較して4億6千万円の減少となりました。流動負債は323億8千1百万円で前連結会計年度末と比較して8億2千万円の減少となりましたが、これは支払手形及び買掛金の増加1億9千2百万円、短期借入金の減少6億6千7百万円、その他流動負債の減少2億3千万円等が主因であります。固定負債は79億6千8百万円で前連結会計年度末と比較して3億5千9百万円の増加となりましたが、これは長期借入金の増加4億8百万円等が主因であります。

純資産は288億3千5百万円で前連結会計年度末と比較して3億9千3百万円増加となりました。これは利益剰余金の増加10億4千9百万円、自己株式の増加2億5千万円、その他有価証券評価差額金の減少3億5千5百万円等が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、平成27年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想を一部修正いたしました。

詳細につきましては、平成27年10月29日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（持分法適用の範囲の重要な変更）

当第2四半期連結会計期間において、当社が保有する株式会社ケンコクの株式を売却したことに伴い、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,498	2,713
受取手形及び売掛金	17,562	17,934
商品及び製品	5,823	6,199
仕掛品	1,068	886
原材料及び貯蔵品	3,193	3,379
繰延税金資産	926	776
その他	1,535	1,261
貸倒引当金	△151	△154
流動資産合計	32,458	32,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,969	20,016
減価償却累計額	△13,059	△13,148
建物及び構築物 (純額)	6,910	6,868
機械装置及び運搬具	21,508	21,584
減価償却累計額	△17,780	△18,044
機械装置及び運搬具 (純額)	3,728	3,540
土地	12,050	11,990
リース資産	708	904
減価償却累計額	△384	△430
リース資産 (純額)	324	473
建設仮勘定	223	39
その他	5,336	5,403
減価償却累計額	△4,301	△4,412
その他 (純額)	1,035	990
有形固定資産合計	24,271	23,903
無形固定資産		
のれん	17	10
リース資産	216	359
その他	483	392
無形固定資産合計	716	762
投資その他の資産		
投資有価証券	6,825	6,261
繰延税金資産	1,702	1,669
退職給付に係る資産	2,320	2,699
その他	1,034	964
貸倒引当金	△77	△72
投資その他の資産合計	11,805	11,521
固定資産合計	36,794	36,188
資産合計	69,252	69,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,390	17,583
短期借入金	9,907	9,239
リース債務	220	234
未払法人税等	556	472
役員賞与引当金	39	—
製品補償引当金	74	70
環境対策引当金	1	—
その他	5,010	4,780
流動負債合計	33,202	32,381
固定負債		
長期借入金	3,276	3,684
リース債務	673	663
繰延税金負債	960	968
再評価に係る繰延税金負債	1,373	1,373
退職給付に係る負債	1,148	1,139
環境対策引当金	63	63
その他	113	76
固定負債合計	7,608	7,968
負債合計	40,811	40,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,443	2,443
利益剰余金	9,194	10,243
自己株式	△9	△259
株主資本合計	20,455	21,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,235	1,879
土地再評価差額金	1,812	1,812
為替換算調整勘定	372	356
退職給付に係る調整累計額	1,597	1,544
その他の包括利益累計額合計	6,018	5,593
新株予約権	—	20
非支配株主持分	1,967	1,967
純資産合計	28,441	28,835
負債純資産合計	69,252	69,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	35,112	37,819
売上原価	25,550	27,085
売上総利益	9,562	10,734
販売費及び一般管理費	7,805	8,030
営業利益	1,757	2,703
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	81	83
その他	161	170
営業外収益合計	244	256
営業外費用		
支払利息	138	111
その他	157	209
営業外費用合計	295	320
経常利益	1,705	2,639
特別利益		
固定資産売却益	8	64
受取保険金	12	118
退職給付制度終了益	238	—
その他	5	8
特別利益合計	264	192
特別損失		
固定資産処分損	64	49
事業構造改善費用	14	91
災害による損失	—	158
その他	11	30
特別損失合計	91	329
税金等調整前四半期純利益	1,879	2,501
法人税、住民税及び事業税	338	516
法人税等調整額	309	378
法人税等合計	648	895
四半期純利益	1,230	1,605
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	110
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,165	1,494

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,230	1,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	454	△341
為替換算調整勘定	△114	△35
退職給付に係る調整額	41	△53
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△14
その他の包括利益合計	383	△444
四半期包括利益	1,614	1,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,570	1,069
非支配株主に係る四半期包括利益	44	91

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,879	2,501
減価償却費	880	957
のれん償却額	8	6
受取保険金	△12	△118
事業構造改善費用	14	91
災害損失	—	158
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△39
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△776	△467
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	6	△4
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△100	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△1
受取利息及び受取配当金	△82	△85
支払利息	138	111
持分法による投資損益 (△は益)	△20	△1
固定資産処分損益 (△は益)	64	49
固定資産売却損益 (△は益)	△8	△64
売上債権の増減額 (△は増加)	262	△389
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△699	△496
仕入債務の増減額 (△は減少)	531	258
その他	△249	△54
小計	1,827	2,412
利息及び配当金の受取額	85	87
利息の支払額	△137	△112
事業構造改善費用の支払額	△14	△57
災害損失の支払額	—	△13
保険金の受取額	12	—
法人税等の還付額	31	132
法人税等の支払額	△438	△550
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,365	1,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2	△3
定期預金の払戻による収入	9	3
有形固定資産の取得による支出	△957	△648
有形固定資産の売却による収入	17	131
有形固定資産の除却による支出	△46	△27
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
投資有価証券の売却による収入	15	0
関係会社株式の売却による収入	—	56
その他	74	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901	△495

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,008	2,334
長期借入れによる収入	102	833
長期借入金の返済による支出	△1,610	△3,416
自己株式の取得による支出	△0	△250
リース債務の返済による支出	△201	△124
配当金の支払額	△371	△445
非支配株主への配当金の支払額	△81	△92
その他	—	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155	△1,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	290	215
現金及び現金同等物の期首残高	2,379	2,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,670	2,659

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,483,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が249百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が259百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	25,721	3,558	4,279	699	34,259	853	35,112	—	35,112
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	621	4	0	21	647	1,281	1,929	△1,929	—
計	26,342	3,562	4,279	721	34,907	2,135	37,042	△1,929	35,112
セグメント利益	928	315	311	75	1,631	64	1,695	61	1,757

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額61百万円には、セグメント間取引消去70百万円、のれんの償却額△8百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	27,741	3,816	4,504	672	36,734	1,085	37,819	—	37,819
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	392	2	14	24	434	1,253	1,688	△1,688	—
計	28,134	3,818	4,519	696	37,168	2,339	39,508	△1,688	37,819
セグメント利益	1,644	488	277	76	2,486	108	2,595	108	2,703

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額108百万円には、セグメント間取引消去114百万円、のれんの償却額△6百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。